

第2次甲賀市総合計画（第3期基本計画）たたき台についての 甲賀市議会における意見のまとめ

第2次甲賀市総合計画（第3期基本計画）たたき台について、各委員会での説明状況を報告します。

1. 各委員会における説明状況について

月日	常任委員会等	会場	主要説明 資料	質疑対応
4月16日	総務常任委員会	第3委員会室	資料1	総合政策部
4月24日	全員協議会	第1・2委員会室	資料1	総合政策部
5月15日	総務常任委員会	第3委員会室	資料1の後半部分	総合政策部（政策推進課）・関係部の次長
5月15日	厚生文教常任委員会	第1・2委員会室	資料1の後半部分	総合政策部（政策推進課）・関係部の次長
5月23日	産業建設常任委員会	第1・2委員会室	資料1の後半部分	総合政策部（政策推進課）・関係部の次長
5月24日	全員協議会	第1・2委員会室	資料1の後半部分	総合政策部

2. ご意見の反映について

- いただいたご意見等については別紙にまとめた質疑の内容の一覧のとおりとなります。

3. 参考

各委員会の所管する施策数等は以下のとおりとなります。

- 総務常任委員会・・・12施策・12課室
- 厚生文教常任委員会・・・22施策・21課室
- 産業建設常任委員会・・・30施策・22課室

総務常任委員会 主な質疑内容（令和6年5月15日）

■第2次甲賀市総合計画（第3期基本計画）たたき台（資料1の後半部分）について

	質疑・意見	回答等
1	資料1前半の6. 行財政マネジメントと情報発信の方針のなかの③「行政評価」による透明性の確保・事業のスクラップ・リニューアルを実施についてスクラップアンドビルドではなくスクラップアンドリニューアルとなっている。現状はビルドを多くやっているが、リニューアルを前面に出した意図は。	<p>リニューアルを前面に出した意図は、第2期基本計画期間にビルドをたくさん行ったが人口減少に歯止めがかかっていないことにある。合併特例債の期限がくると、近年の物価高騰、働き方の変化といった情勢に対し、ビルドに偏ったことで財源や人的資源に不足が出てきていると感じている。</p> <p>第3期基本計画の計画を立てる際に事業の評価を行い、効果が低い事業のスクラップ、もしくはリニューアルを明確に示す必要があるのではないかと感じている。事業評価に関する仕組みも庁内で検討している。</p>
2	資料1の後半部分に担当課が示されているが、複数記載されている場合は連携している担当課が記載されているのか。庁内連携について、強化していくべきであり、様々な手段で相互連携を進めてほしい。	担当課に関しては、主担当の課と関連する課がある。今後、政策推進課の調整機能も強化していきたいと考えており、関係課の相互連携を更に進めていきたい。
3	第2期の成果と課題については、現在、第2期基本計画の期間中であり、今後、更新をするのか。	たたき台の作成を昨年度の後半に進めていたので、昨年度末の成果と課題の記載となっている。第2期基本計画の最終年度である今年度の成果と課題は、今回の資料には反映できていないが、今後、反映できる部分は反映させていきたい。
4	最新情報の記載についてはチェックを行うか。	各課に照会をかけてチェックする形で進めている。進捗中の事業内容については、記載内容等を検討したい。
5	<p>「1. 市民自治」の「①住民自治の促進」について、自治振興会は今年度から大きく変わることから、今後、力を入れる部分だと思うが、成果指標で自治振興会活動に参加している市民の割合の目標値が令和10年度50パーセントとある。ここの数値は令和5年度実績値がすでに40%であり、物足りない気がする。</p> <p>更に高い数値を目標としてはどうか。</p>	<p>成果指標における自治振興会活動に参加している市民の割合については、市民意識調査の結果を反映している。</p> <p>自治振興会活動に参加している市民の割合は高ければ高いほど良いということは共通認識であるが、現状では自治会に加入している市民の数は大きく減少している。</p> <p>50パーセントという目標については、現状を踏まえ、多くの市民に参加してほしいという思いを込めた目標設定と考えている。</p>

6	<p>「1. 市民自治」の「①住民自治の促進」について、市民活動に係る相談件数の目標は令和10年度で730件だが、相談件数は増えるほうが良いのか。あるいは、多いほうが良いと考えるのか。</p>	<p>相談件数については、甲賀市まちづくり活動センター（まる一む）における年間の相談件数より設定している。相談件数の増加は、相談したい案件の発生件数が小規模多機能自治の浸透度であると捉えており、市民活動への関心の高まりと地域における自主的な課題解決に向けた意識の表れと捉えている。</p>
7	<p>「4. シティプロモーション」の「①シティプロモーションの推進」と「②インナープロモーションの強化」に関して、プロモーションの対象は若者や子育て世代であると考えますが、もう少し対象を絞れないか。</p> <p>また、シティプロモーションとインナープロモーションはリンクしており、市内の高校生が魅力を感じるようなプロモーションをしていかなくては若者が定住していかないと思う。手法に関しても、従来とは異なる方法が検討できないか。</p>	<p>若者、特に女性の人口流出が懸念される中、インナープロモーションについては、市内の若者にどのように甲賀市のことを知ってもらえるのか、また、情報を受けた若者がいかに市外に発信してくれるのかを考える必要がある。</p> <p>また、シティプロモーションは市外からの移住定住に向けてターゲットを明確にしていかななくてはならないと考えている。</p> <p>いずれについても、戦略的に取り組みを進めることが必要と認識している。</p>
8	<p>「4. シティプロモーション」の「①シティプロモーションの推進」と「②インナープロモーションの強化」に関して、甲賀市には働く場所が多いというが、「働きたい場」であるかが重要。「働きたい場」にしていくこともプロモーションのひとつであり、「ここに就職したらこんな仕事ができる」という付加価値を訴求する必要がある。</p>	<p>甲賀市は製造業が多いが、必ずしも若者が働きたい職場として認識されていないと考えている。甲賀市に立地する製造業の魅力をアピールしていく必要があり、企業の事業内容やそこで働く人の魅力を紹介し、甲賀市に来てほしいというアピールをして、最終的に移住定住につながれば良いと考えている。市の広報部門が企業との連携に取り組むことについても必要性を感じている。</p>
9	<p>「4. シティプロモーション」の「①シティプロモーションの推進」と「②インナープロモーションの強化」に関して、甲賀市は風光明媚な景色と時間の余裕が魅力であると考えている。市が他の市町にはない甲賀市ならではの付加価値を見つけて、アピールできないか。今までと視点を変えて、市内の魅力を見つけ出してアピールしてほしい。</p>	<p>甲賀市に住むことによる余暇の楽しみ方や魅力的な場所など、戦略的に広報を進める必要があると考えている。</p>

10	<p>「12. 安全・防災」の「②地域防災体制、基盤の強化」に関して、もっと強化していくと示すと良いのではないか。第2期基本計画の成果と課題に記載がある「逃げ遅れゼロ」も重要だが、インフラの強化も重要と考える。</p> <p>また、第3期基本計画の施策概要の内容が第2期基本計画の内容とあまり変わらないように感じるので、災害対策の強化をより詳しく記載してはどうか。市民にとっての関心事だと思う。</p>	<p>能登地震の記憶も新しく、市民の関心も高いと感じている。資料1における重点プロジェクトは災害をテーマとしており、ご指摘を踏まえて検討を進めたい。</p>
11	<p>「12. 安全・防災」の「②地域防災体制、基盤の強化」に関して、能登の地震のあと災害関連死が話題になっている。熊本では地震での死者数の4倍の方が災害関連死している。</p> <p>滋賀県で災害関連死を審査できるのは守山市のみであり、本市においても、災害関連死は自治体の責任と認識し、災害関連死の防止も含めた取り組みを進めるべきと考える。</p>	<p>災害関連死については、重要な課題であり、実施計画の策定過程においても、担当部局と連携しながら検討を進めたい。</p>
12	<p>「18. 若者・子ども・子育て」の「⑤若者の活躍、定住の促進」について、空欄が多いのはなぜか。</p>	<p>第3期基本計画において新たに施策として記載したため、過去分は空欄となっている。</p> <p>従来からも子育て支援、就労支援、居住支援など多方面に施策に取り組んでいるが、重点目標を達成するために若者子育て世代に向けた施策については、今後強化していきたい。</p>

厚生文教常任委員会 主な質疑内容（令和6年5月15日）

■第2次甲賀市総合計画（第3期基本計画）たたき台（資料1の後半部分）について

	質疑・意見	回答等
1	「2. 市民共生」の「①人権教育、啓発の推進」について、コロナ禍以降の新たな人権に関する課題はどのように認識しているのか。	LGBTやパートナーシップといった性の多様性に関することを認識しているが、引き続き、インターネットに関する人権侵害も深刻と認識している。
2	「2. 市民共生」の「①人権教育、啓発の推進」に関して、成果指標の「人権に関する学習会に参加したことがある人の割合」としているが、かなり高い目標を掲げている。この目標を達成するための具体的な考えがあれば示してほしい。	「人権尊重のまちづくり懇談会」は令和2年度から4年度の3年間は地域での開催を依頼していない。コロナ前は9割の区・自治会で実施していたが、令和5年度に再開したところ、7割5分程度の開催となった。 コロナ禍後の行動変容により、従来どおりの開催に抵抗感を持たれている人もあり、開催されなかった区・自治会に対しては、開催しやすい方法の提案等を行っている。
3	「2. 市民共生」の「③人権に関する相談、支援の充実」について、第2期基本計画の課題として「パートナーシップ制度の導入」の記載があるが、「ファミリーシップ」といった表現も聞くことから、精査の上、記載してほしい。 また、性的な分類というより、ひとりの人間として尊重するといった思いをもって、第2期基本計画から第3期基本計画に取り組んでほしい。	第3期基本計画において、そのような思いを反映させていけるよう、しっかりと検討を進めたい。
4	「8. 文化・スポーツ」の「②文化、芸術の振興」について、信楽焼の今後の施策概要として“守り”と“攻め”があると思うが、比重としてはどちらに力を入れたいのか。	従来からの焼締めなどの伝統的な信楽焼にこだわらず、広い範囲における信楽焼が発展するように取り組んでいきたい。
5	「8. 文化・スポーツ」の「②文化、芸術の振興」について、「自主的な創作活動や伝承活動を支援します」と記載されているが、個別の自主的な努力を支援するのか、市が主導的に事業に取り組むのか、いずれかの方向性で検討しているのか。	いずれかの方向ということではなく、市としては取り組みを進めたいと考えている。
6	「8. 文化・スポーツ」の「③スポーツの振興」について、総合型地域スポー	甲賀市の総合型地域スポーツクラブについては県内でも多く、9つのスポーツクラブが

	<p>ツクラブが市内には多く存在し、県内でも先進的に取り組んでいる。スポーツの振興をする上で総合型地域スポーツクラブの活用が必要なのではないか。また、第2期基本計画と表現が変わっていないので、もう少し踏み込んだ表現を検討できないか。</p>	<p>あり、連絡協議会を組成している。ご指摘の件については検討を進めたい。</p>
7	<p>「8. 文化・スポーツ」の「③スポーツの振興」について、スポーツクラブは自主運営が基本なので連絡協議会という緩やかなつながりはあるが、団体による運営状況は様々であり、市で支援はできないのか。</p>	<p>財政的な支援の他、情報提供等の伴走支援にも取り組んでいるところであり、引き続き取り組みを進めていきたい。</p>
8	<p>「8. 文化・スポーツ」の「③スポーツの振興」について、第2期の課題には「関係団体の一元化につながる継続的な支援が必要」と書いてあるが、第3期にも同様の記載があり主体がどこになるのか。また、一元化について、甲賀市スポーツ協会と甲賀創健文化振興事業団の統合についてだけではないのか。</p>	<p>総合型スポーツクラブ等の事務局体制の一元化についても検討していきたい。</p>
9	<p>「8. 文化・スポーツ」の「③スポーツの振興」について、第2期基本計画は「支援」、第3期基本計画は「継続的に取り組む」とあるが意図するところは。</p>	<p>総合型スポーツクラブの立ち上げについては、市が主導した経緯もあり、継続的に支援に取り組むと考えている。</p>
10	<p>「8. 文化・スポーツ」の「③スポーツの振興」について、総合型スポーツクラブを一元化することも選択肢の一つと考える。身近な小学校区にあることが総合型スポーツクラブの良さであり、そういったところは大事にしてほしい。</p>	<p>地域の身近なところにクラブがあるということは重要と考えているところであり、その良さが損なわれないよう取り組んでいきたい。</p>
11	<p>「9. 地域福祉」の「①高齢者施策の充実」について、「高齢者が社会を支える一員として」と記載があるが、高齢者自身は「健康第一」のようなことを考えているのではないか。また、「介護保険制度の円滑な運営」という表現は「介護サービスを充実」と変えてはどうか。</p>	<p>施策の充実に目を向けていたが、介護予防に加え、生きがいづくりについても重要と考えている。表現については検討を進めたい。</p>
12	<p>「9. 地域福祉」の「②障がい福祉の充実」について、手話だけでなく、障がいのある人と健常者が一緒に関わるインクルーシブな社会が大切だが、コミュニケーション</p>	<p>地域に出てコミュニケーションを取っていただくことは大変重要と認識している。具体的な取り組みについては、部内だけでなく他部局とも議論したい。</p>

	<p>オン手段がないと意思疎通ができない。例えば、子ども同士が遊ぶときに相手の気持ちがわからないとうまく遊べないので、公園にコミュニケーションボードを設置しておくなどの取り組みを進めてはどうか。</p>	
13	<p>「9. 地域福祉」の「②障がい福祉の充実」について、「特性」という表現を「特徴」としてほしい。</p>	<p>表現については検討を進めたい。</p>
14	<p>「9. 地域福祉」の「④セーフティネットの充実」について、文章の最後に出てくる表現に関して、「保障制度」を「社会保障制度」としてほしい。</p>	<p>表現については検討を進めたい。</p>
15	<p>「10. 保健・医療」の「①健康寿命の延伸」について、健康推進員の組織が縮小している中で「取り組みを進める」となっている。健康推進員が公募制になったが、今後、どのような影響が出てくるのか、良く見ていく必要があると思う。 また、3行目ー4行目間で、文意が変わるように感じるので「また」などの接続詞を入れてはどうか。</p>	<p>健康推進員については、今後、養成講座等を充実させ、取り組み内容もこれまで以上にしっかりしたものにしていきたい。このほか、区・自治会との連携や健康推進員の協議会での連携などについても更に進めていきたい。 また、文章の接続に関しては、接続詞の追加を検討したい。</p>
16	<p>「10. 保健・医療」の「①健康寿命の延伸」について、成果指標に健康寿命を使用しているが、健康寿命は介護認定でいうところの要介護2以上といった要件が示されているが、日常生活に制限があるかどうかで測るといった要件の方が実態に即しているかどうか。</p>	<p>健康寿命の定義については、様々な考え方があり、指標として活用可能なデータの有無もあることから、いただいたご意見を踏まえて検討を進めたい。</p>
17	<p>「10. 保健・医療」の「②疾病予防、早期対策の推進」について、成果指標である国保特定健診の受診率の実績と目標が離れているがどうか。 また、健診の受診率の向上については施策の中に文言として入れないのか。</p>	<p>国民健康保険と後期高齢者医療保険における健康診断の受診率については、向上に向けて努力しているところであり、文言として入れるかどうかは検討していきたい。</p>
18	<p>「10. 保健・医療」の「③医療環境の充実」について、ひとり親支援は比較的充実していると感じるので、市の特色を踏まえ、外国人への助成も検討してはどうか。</p>	<p>外国人への助成については研究していきたい。</p>
19	<p>「10. 保健・医療」の「③医療環境の充実」について、第2期基本計画の施策概要に記載がある「オンライン診療のあり方について検討」とあるが、結果はどうかになったのか。</p>	<p>オンライン診療について機材購入の補助制度を運用したが、医療機関の採算性や患者の利便性に課題があり、導入意欲が低く、補助実績は低調だった。様々な課題はあるが、オンライン診療については、在宅での診療の選択肢の一つとして引き続き検討を進めたい。</p>

20	<p>「10. 保健・医療」の「③医療環境の充実」について、在宅医療というのは訪問診療のことではないのか。</p> <p>中山間地域を少ない医師では回り切れないことから、オンライン診療により対応するという発想だったと認識している。</p> <p>また、そもそも在宅医療とオンライン診療では性格が違うのではないのか。</p>	<p>在宅医療については病院に出向けない患者のもとに医師が出向くという形の診療形態。一方、オンライン診療は医者も患者も移動しない診療形態であることから、在宅で受けられる診療形態の一つとして捉えることができると考えている。</p>
21	<p>「10. 保健・医療」の「③医療環境の充実」について、夜間の小児医療が不足していることを記載すればどうか。また、甲賀病院をどうするのか。</p> <p>国保の県域化についても記載できないか確認したい。</p>	<p>夜間の小児医療については、医療体制の主體的な役割を担っているのが県であることから、県に対する要望はしているところであり、記載については今後検討を進めたい。</p> <p>また、甲賀病院については具体的な見通しが立っていないので記載していないが、課題としては認識している。</p> <p>国保の県域化の記載については今後検討を進めたい。</p>
22	<p>「10. 保健・医療」の「④保険制度の適正運用」について、なぜ③医療環境の充実と統合したのか。統合せず、④にも施策と施策概要を入れてはどうか。</p>	<p>経緯を確認の上、今後検討を進めたい。</p>
23	<p>「12. 安全・防災」の「①安心、安全対策の強化」について、第2期基本計画とも関わるが、通学路の安全対策は喫緊の課題と考える。地域の要望が強いところであり、文言を入れて見えるようにしてほしい。</p>	<p>重点プロジェクトとしての位置づけもあると考えるので、可視化できるよう調整を図りたい。</p>
24	<p>「18. 若者・こども・子育て」の「②就学前教育、保育の充実」について、保育料の無償化のことや3歳未満児の待機児童問題も記載してはどうか。</p> <p>また、隠れ待機も含めて文言整理をしてほしい。</p>	<p>施設整備も含めて位置づけできるよう、今後検討を進めたい。</p>
25	<p>「19. 学校教育・社会教育」の「①学校教育の充実」について、「いじめを許さず」という表現を踏まえ、インクルーシブ教育を推進することでどんな子供を育てようとしているのか。「お互いを認める」という文言があればいいのではないのか。</p>	<p>インクルーシブ教育に関しては、障がいのある子どもと共に学び、多様性をお互いに認め合うことがいじめ防止につながると考えている。文言の追加についても検討を進めたい。</p>
26	<p>「19. 学校教育・社会教育」の「①学校教育の充実」と「③多様な学びの場の確保」について、新たな学びの場は必要だが、学校現場での生きる力や学ぶ力を育てることが重要であり、基礎となる学校教育の場を強化することについて、表現できないか。</p>	<p>ご意見踏まえて、今後検討を進めたい。</p>

27	「19. 学校教育・社会教育」の「②教育環境の充実」について、学校再編と校舎の長寿命化を一緒に考えてもよいのか。	建て替えは長寿命化計画により進めているが、再編のあり方も含め、今後検討していきたい。
28	「19. 学校教育・社会教育」の「②教育環境の充実」について、前段は具体的だが後段が抽象的なので差異を感じる。	差異が生じないような表現にできないか検討を進めたい。
29	「19. 学校教育・社会教育」の「②教育環境の充実」について、成果指標がコミュニティスクール導入校数で良いのか。指標と施策概要の内容が一致していないように感じる。SDGsとの関連も、馴染んでいない感じがする。	成果指標は、第2期を見ながら第3期を議論いただけるよう表記している。第3期の指標はページ右上の部分に市民満足度といった定性的な指標1つと代表的な指標2つ、合計3つの指標を整理している。
30	「19. 学校教育・社会教育」の「④社会教育の推進」について、夢の学習は子育て支援のほか、高齢者の生きがいにもつながっている。公民館活動のほか、様々な分野に関連があると思うが、関連事業等についてどのように考えているのか。	夢の学習については強い信念と熱量をもって事業を展開いただいている。幅広い事業に取り組んでおられることから、関連する分野は幅広く、引き続き関係部局等との連携を進めていきたい。

産業建設常任委員会 主な質疑内容（令和6年5月23日）

■第2次甲賀市総合計画（第3期基本計画）たたき台（資料1の後半部分）について

	質疑・意見	回答等
1	<p>総合計画の策定スケジュールでは令和7年3月となっている。</p> <p>甲賀市だけでなく、他自治体においても、総合計画基本構想が12年となり、基本計画の期間も4年となってきたが、首長の任期を意識したものだと考えられる。</p> <p>トップが変わると総合計画は大きく変わると思うが、選挙の結果によっては、現在の策定作業においてスケジュールの調整はあり得るのか。</p>	<p>基本構想の12年間、基本計画の4年間は、行政としての連続性を担保する形で進めている。</p> <p>策定にあたっては、議会はじめ、市民等、様々な関係者の意見を踏まえて進めていることから、選挙の結果が策定スケジュールに影響を及ぼし、必要となれば、改めてスケジュールをお示ししていきたい。</p>
2	<p>以前より、「成果指標が本当に適切かどうか」が課題だったと思う。第2期の4年間で何が変わったかを示してほしい。</p> <p>なお、作業の難しさは理解できるが、分かりやすく見せることも重要。議会や市民が施策の目指す方向を分かりやすくすることは、今後も総合計画を積み上げていく中で進化の部分だと考えている。庁内での議論を進め、知恵を出してほしい。</p>	<p>第2期基本計画成果と課題については、どのような変化があったということまで書ききれないことは事実であり、抽象的にしか書ききれない部分もある。</p> <p>ご指摘の点を踏まえ、全体を見て、修正可能な部分があれば、できる限り対応したい。</p>
3	<p>資料1の後半部分の議論については、第1期から第2期の流れを議論すべきなのか。第3期のことを議論すべきなのか。</p>	<p>資料1の後半部分については、上段は第1期と第2期の流れ、下段は第3期の施策と施策概要となっている。</p> <p>今回の議論は第2期の成果と課題を受けた第3期の施策概要を議論していきたい。第1期と第2期は参考。左上の成果指標は第3期である。</p>
4	<p>成果指標については令和6年以降のものはどれか。</p>	<p>施策ごとの右上にある成果指標が第2期の成果指標となる。</p> <p>第3期の成果指標については、左上にまとめて3つの成果指標を記載している。</p> <p>なお、第2期では施策ごとに成果指標を設定していたものの、施策と直接関係する成果指標を設定が難しかった。第3期については右上に分野を代表する3つの指標をまとめた。</p>
5	<p>物理的に第2期と第3期の成果指標が繋げられないことは理解できるが、かなり分かりにくい。最終的な提案の際は、どのようにまとめるのか。</p>	<p>現在は第2期と第3期の両方を示しているが、最終的には第3期の成果指標のみを示す形で考えている。</p>

6	<p>各分野の成果指標について、市民意識調査の満足度を上げるということであれば、他の目標は無くてよいのでは。</p>	<p>第3期からすべての分野において定性的な成果指標として満足度を上げているが、定量的に成果を測る必要もあることから、分野を代表する指標を2つ併記している。</p>
7	<p>「3. 男女共同参画」の「①男女共同参画社会づくりの推進」について、第2期の施策概要には「家庭、地域、職場、学校における」と明記されているが、第3期には明記されていない理由は。</p>	<p>ジェンダー平等の実現のために幅広い取り組みの必要性を認識しており、固定的な意識や思い込みの解消といった表記にした。</p>
8	<p>「3. 男女共同参画」の「①男女共同参画社会づくりの推進」について、思い込みにより男女共同参画の実態にずれが生じていると考える。男性も家事に関わるべきということは一般論だが、ある調査で女性はそうとも考えていないというデータもあり、男女どちら側の意識を変えていくのかを考えていく必要もあると思う。過去のデータを踏まえて、男性中心的な取り組みにならないように進めてほしい。</p>	<p>固定的な思い込みを改善していく取り組みは必要であり、ご指摘の点を踏まえ、取り組み内容が偏らないように進めていきたい。</p>
9	<p>「3. 男女共同参画」の指標について、女性の代表または副代表の自治会の割合をあげているが、それが一番の成果指標と考えるのか、区や自治振興会、各種団体はどうか。 また、「自治会」ではなく、「区・自治会」と表記すべきでは。</p>	<p>ご指摘の成果指標を用いた理由については、分野別計画における指標の一つを用いている。現在、分野別計画の見直しを進めており、ふさわしい指標が出てくれば、見直しを検討したい。 また、表記については、必要あれば訂正したい。</p>
10	<p>「3. 男女共同参画」の指標については、区や自治会の役員のほとんどが男性であることから、このような指標を採用したと認識していた。日本のジェンダーギャップは先進国でかなり悪い状況であることも踏まえ、議論を進めてもらいたい。</p>	<p>ご指摘の点を踏まえて議論を進めたい。</p>
11	<p>「5. 環境・資源・エネルギー」の「②生活環境の保全」と「③資源、エネルギーの有効活用の推進」について、「環境未来都市に向けて」といった文言を入れてはどうか。</p>	<p>「環境未来都市」という文言自体は、「③資源、エネルギーの有効活用の推進」の第2期の成果にあるが、分野別計画の見直しの中でもしっかりと位置付けて施策を展開していきたい。</p>
12	<p>「5. 環境・資源・エネルギー」の「②生活環境の保全」について、クリーンセンター滋賀に関する課題を解決する</p>	<p>クリーンセンター滋賀に関することは継続して取り組む必要性も認識している。</p>

	ための成果指標や施策概要が連動しているのか。また、今後の取り組みにどのように連動・関係してくるのか。	なお、表現の統一感については、様々な取り組みを総花的に取り組む必要もあることから、分野別計画においても、いただいたご意見踏まえて検討を進めたい。
13	「5. 環境・資源・エネルギー」の成果指標について、市民活動における清掃活動の参加率を指標にできないか。	指標ではなく、HP等で情報発信することにより示していくものだと認識している。今後も、市民や企業の取り組みをしっかりとPRしていきたい。
14	「5. 環境・資源・エネルギー」の成果指標については、第2期の成果指標にあった生活排水処理率は第3期の成果指標に採用されていないが、成果指標そのものを無くすという認識でよいか。	第2期は施策ごとの成果指標だったが、第3期は分野を代表する成果指標としている。分野別計画にも成果指標があることから、基本計画としては代表的なものを採用しているとご理解いただきたい。
15	「5. 環境・資源・エネルギー」の「④廃棄物の適正処理」について、廃プラの MATERIAL 利用は、第3期の施策概要の中で包括的に検討していると認識してよいか。	廃プラの MATERIAL 利用は、「資源化」という点を踏まえて第3期の施策概要に含まれている。
16	「6. 自然・公園・緑地」の「②公園の整備、適正管理」について、児童遊園について遊具の設置や修繕に支援が必要と記載されているが、第3期でどのような取り組みを進めるのか。	プレイパーク事業により地域と連携し、支援を進めている。
17	「6. 自然・公園・緑地」の「②公園の整備、適正管理」について、ほとんどの公園は市が管理していると思うが、地元管理の公園を一元的に整理する方向で議論は進めているのか。	検討としては進めているが、個別の公園の議論までは進んでいない。引き続き検討を進めていく。
18	「6. 自然・公園・緑地」の成果指標について、公園の利用人数について説明してほしい。また、公園管理の状況が適正に行われていないと思われるところがある。	ほとんどの公園は無料で自由に使い、人数把握が難しいことから、有料公園の人数を成果指標として採用している。公園管理については、直営や地元協力等、様々な取り組みをしているが、成果指標として数値化は難しいところがある。公園の適正な維持管理に努めていく。
19	「6. 自然・公園・緑地」の成果指標について、目標に対して、実績はかなり増えていることから、目標の設定値が低いと思うがどうか。	ご指摘の点を踏まえて、実績から実情に応じた目標値の設定ができないか検討を進めていきたい。
20	「6. 自然・公園・緑地」の「②公園の整備、適正管理」における、パークマネジメントについて教えてほしい。公園管理のためのカルテのようなものは作っているのか。また、細かく、除草状況や遊具の点検等を実施しているのか。	公園台帳を作って管理している。除草については、全ての公園を把握することは難しいが、遊具については、全ての遊具を確認している。 利用者が特定されていない公園は市が除草しているが、地域の公園は主に地域で除草し

		ていただいている。
21	「6. 自然・公園・緑地」の「②公園の整備、適正管理」について、第2期と施策概要が変わらないが、パークマネジメントについては、実施できていないから記載しているのか、引き続き実施するから記載しているのか。PFI等様々な手法があると思うが、具体的にどのように4年間進めていくのか。	パークマネジメントがあまり進んでいないということは認識している。民間とのノウハウの共有も有効である分野なので、大きな公園の管理で指定管理者等と協議しながら適正な管理を進めていきたい。
22	「6. 自然・公園・緑地」の「②公園の整備、適正管理」について、管理が追い付いていないのではないかと。基本計画は予算と連動するものであり、まずは現在の施設メンテナンスに必要な予算が重要。新規事業に追われないよう、予算との連動について整合を図ってほしい。	基本計画と予算が連動するよう、行政評価システムや組織体制と併せて総務部とは調整を図っており、実効性を高めていく取り組みを進めている。
23	「11. 住まい・ライフライン」の「①空き家対策の推進」について、具体的な空き家活用をどのように検討してくのか。	空き家バンクの登録等について継続して取り組みたい。また、法改正の影響等を踏まえて検討を進めたい。
24	「11. 住まい・ライフライン」の「①空き家対策の推進」について、転入者アンケートに中古より新築と書いてある。ミスマッチの解消をどのように進めるのかが課題だが、どのような取り組みを進める必要があると考えるか。	住宅需要のミスマッチについては、解決が難しいところ。どのような形で進められるかは検討・研究を進めたい。
25	「11. 住まい・ライフライン」の「①空き家対策の推進」について、空き家には、仏壇や空き地の問題等があるがどのように考えているか。	人口減少対策としては、移住もあれば、定住している人の継続もあるかと思う。 空き家の利活用と除却のバランス感をどのように持っていくかが重要であり、人口減少対策と個人の住宅の管理という部分を整理して進めたい。
26	「11. 住まい・ライフライン」の「①空き家対策の推進」について、民間事業者が中古住宅をリフォームして販売している事例もあるが、このような取り組みを進めるべきでは。	色々な事例があり、ニーズがあれば民間事業が成立するが、手法の問題とプレイヤーの問題は重要。不動産事業として成立しないと難しいところもあり、検討・研究を進めたい。
27	「13. 農林畜水産」の「①農林畜水産業の安定経営の確保」について、農福連携が第3期に記載されていないがどのように考えているのか。また、農福連携は文言としては入れたほうが良いのではないかと。	農福連携については、福祉施策の側面が強いが、産業経済部としては認定農業者とのマッチング等に取り組んでいるほか、協議会にも参画しており、庁内連携を図っている。
28	「13. 農林畜水産」の「③林業の振興」について、木育の取り組みにより、木のおもちゃの配布などを進めているが、次の展開として施設整備のようなことは考えているのか。	施設整備までは考えていないが、今後も現在の取り組みを広げる形で進めていきたい。

29	「13. 農林畜水産」の「④鳥獣害対策の推進」について、捕獲者の増員について、具体的な取り組みはどうか。	獣害対策の免許取得の支援等に取り組んでいる。
30	「13. 農林畜水産」の「④鳥獣害対策の推進」について、ジビエの取り組みの進捗はどうか。	ジビエについては民間事業者とも可能性を探っているところであり、引き続き検討を進めたい。
31	「13. 農林畜水産」の成果指標については、1番茶の茶価ではなく、収入全体としてはどうか。また、水稻等の生産額や生産者の多い作物を踏まえ、農作物の出荷額のようなものとしてはどうか。	提案いただいた部分も含めて適当なものを検討していきたい。
32	「13. 農林畜水産」の成果指標については、農作物被害金額となっているが、生活被害としての実態があることから見直しが図れないか。	獣害については現状は林業に含んでいるが、生活被害の部分もあり、実態を踏まえて検討を進めたい。
33	「14. 商工観光」の「①商業の振興」については、第2期では伴走支援の仕組みができたという理解でよいのか。	取り組みを進めてきた中で、時代のニーズに合った取り組みを進めたいと考えており、継続していくと認識している。
34	「14. 商工観光」の「②地場産業の振興」について、第3期の施策概要が工業振興のようになっているが、どうか。	内容精査の上、見直したい。
35	「14. 商工観光」の「②地場産業の振興」について、地場産業の一人当たりの信楽焼生産額の計算の仕方について教えてほしい。	信楽焼生産実態調査の数値を用いて算定している。
36	「14. 商工観光」の「④観光資源の活用と観光客の誘致」について、インバウンドについては今後、抑制やコントロールが課題だと思うが、どのように考えているのか。	分野別計画の中でも議論を進めているところであり、実施計画等に反映していきたい。
37	「14. 商工観光」の「③工業の振興」について、企業の流出抑制とはどういう意味なのか。人材確保等の課題から、具体的な事例はあるのか。	市内企業からも従業員確保の課題は聞いているが、好調な業績を背景に用地確保を課題として、設備投資を行う拠点を検討しているということも聞いている。
38	「14. 商工観光」の「③工業の振興」について、計画的に立地企業のニーズを踏まえ、工業団地を造っていくということになると考えるが、現在の取り組みはどうか。	市内企業の事業拡大のニーズもあれば、市外からの立地ニーズもある。市内企業の拡張のほか、民間ディベロッパーが用地を探していることもあり、総合的に調整を図りながら戦略的に進めていきたい。
39	「14. 商工観光」の「③工業の振興」について、物流の2024年問題を踏まえ、物流拠点の整備もあると思う。このほか、工場以外に時代の変化を踏まえた立地ニーズがあると思うがどうか。	本市は、物流拠点としての立地条件も良いことから、物流に関する相談も多く受けているところであり、物流センターのほか、データセンター、工場も含め、本市の特性を踏まえて戦略的に進めていくべきと考えている。
40	「14. 商工観光」の成果指標について、製造品出荷額と記載があるが、正確には工	確認の上、修正を検討する。

	業製品出荷額等では。	
4 1	「1 4. 商工観光」の成果指標について、製造品出荷額が増えていくことで何が変わるのか。税金や雇用など、地域経済にどのような影響が生じているのか分析すべきでは。	成果指標については分野別計画の中でも見直しを進めているところであり、検討を進めたい。
4 2	「1 5. 活躍・雇用」の「②女性活躍の推進」について、第2期の課題として、伴走支援が必要との記載があるが、第3期にも同様の文言を記載してはどうか。	ご指摘の伴走支援という文言については、見直しを検討したい。
4 3	「1 5. 活躍・雇用」の「③ワーク・ライフ・バランスの促進」について、イクボス宣言企業の登録企業数の実績が記載されているが、令和6年度の実績を記載し、目標設定を進めてはどうか。	実績を踏まえて目標値を設定したい。
4 4	「1 5. 活躍・雇用」の「③ワーク・ライフ・バランスの促進」について、イクボス宣言に取り組んで一定期間が経過したが、宣言後にどのような取り組みがされているのかをまとめる時期に来ているのでは。	宣言していただいたことで事業者の意識改革が進んでおり、セミナー等にも積極的に参加いただいている。実績についてはまとめていく時期にも来ているか考えており、今後検討していきたい。
4 5	「1 5. 活躍・雇用」の「①人材確保、就労支援の推進」について、人材不足は大きな課題であり、現在の具体的な取り組みはどうか。	J O Bフェア等の企業と求職者のマッチングやワーク・ライフ・バランスの推進などを進めている。
4 6	「1 5. 活躍・雇用」の「①人材確保、就労支援の推進」について、若者と企業との求職のミスマッチに対する取り組みや外国人の活用については、この施策に盛り込んでいくのか。	ご指摘の点については、この施策の中で検討していく。
4 7	「1 5. 活躍・雇用」の「②女性活躍の推進」について、資格取得制度の周知啓発を行うとあるが、中身について、対象となる資格は今の時代に合わせたものとするべきでは。	資格取得支援については、利用実態等を踏まえて検討を進めていきたい。
4 8	「1 6. 道路・交通」の「①広域幹線道路の整備促進」について、第2期に土山サービスエリアに関する記載があるが、完了したため第3期には記載されていないのか。ほかの施策に包括されているなら分かりづらいので記載してほしい。	土山サービスエリアについては、「1 7. 都市形成」に含めて考えているが、ご指摘の点を踏まえて検討を進めていきたい。
4 9	「1 6. 道路・交通」の「③生活道路等の整備、適正管理」について、警察は信号を無くす方向であり、子供たちも通学路でなく最短ルートで帰ってくる傾向がある	通学路については、通学路点検等により教育委員会とも連携して取り組んでいるところであり、引き続き進めていきたい。

	ことから、対策を進めるべきでは。	
50	「16. 道路・交通」の「④持続可能な移動環境の構築」「⑤鉄道利用の促進」について、ライドシェアなど様々な手法があると思うが、交通弱者に対する施策をどのように盛り込んでいくのか。	公共交通の交通空白地については、ライドシェアも可能性はあるが、高齢化や過疎化といった課題を踏まえ、可能な選択肢を検討していきたい。
51	「16. 道路・交通」の成果指標について、JR草津線の年間乗客数とあるが、近江鉄道と信楽高原鐵道についても記載した方が良いと思うがどうか。また、これらの数値は出せるのか。	JR草津線については、減便とまらないように取り組みを進めていくことから、まずはここに重きを置いた。ご質問の数値は把握している。
52	「16. 道路・交通」の成果指標について、JR草津線の乗降客数は大変重要。毎年増やしてく目標となっているが、かなり難しい数字だと思う。この数字をもっと具体的な数字にすべきと考えるが、どのような議論が進められているのか。	利用客の増加を進めることは、かなり難しいと認識している。特効薬のような対策はないが、観光利用や関西本線等の関係路線との連携事業等、学生の定期利用の促進など、あらゆる手段を検討していきたい。
53	「16. 道路・交通」の成果指標について、公共交通については、人口減少を踏まえ、新たな方法を考える必要があるのでは。代替案も検討していく時期に来ているのでは。	重要なお指摘だが、現在の総合計画では、公共交通をしっかりと残す方向で考えている。中長期的な議論は地域活性化協議会等で進めていければと考えている。
54	「17. 都市形成」の「③まちなみデザインの強化」について、公共施設の部分が必要と書かれてあるが、本件に関連する新たに建設する公共施設を考えているのか。	具体的な個別の公共施設のことではなく、今後、このような方針も考えていく必要があると考えている。
55	「17. 都市形成」の「③まちなみデザインの強化」について、行政が主導することは無理が生じる可能性があるが、まちなみのデザインを意識していくことは重要であり、このような発想に至った理由を知りたい。	第2期において、「景観の創造」とされていた施策があったが、民間セクターにデザイン規制をかけて作るということは現実的ではないことから、このような形にした。 また、若者・子育て世代に選ばれる地域となるためには、まちなみという部分も重要であり、デザイン性の統一を進める必要性を感じていることから、このような施策を入れた。